

海外教育旅行のすすめ

2024



国土交通省
観光庁

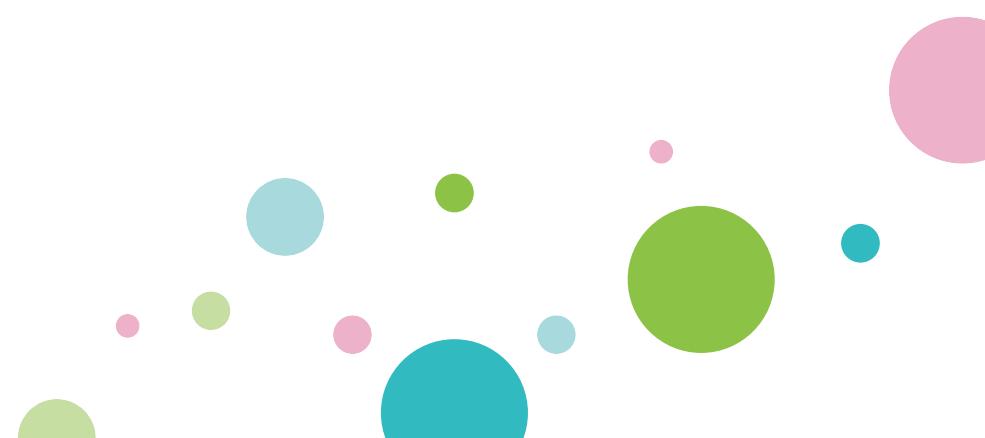
観光庁は、令和5年度「海外教育旅行プログラム付加価値向上支援事業」において、旅行会社と高等学校への海外教育旅行のプログラム開発支援を実施しました。

旅行会社が、学校や関係事業者と連携して、学校が海外教育旅行に求める思いや学習により得られる効果などを反映すべく、来年度以降における海外教育旅行の実施、また商品化を目指し、有識者のアドバイスをいただきながら、教育的に付加価値の高いプログラム開発に取組んでいただき、実際に旅行会社や学校関係者に現地視察にも行っていただきました。

本書は、今年度開発されたプログラム内容や狙い、育てたい生徒像、学習効果などを簡潔にまとめたものです。

今後の海外教育旅行を新たに導入する学校関係者や旅行会社のご参考になれば幸いです。

末尾になりましたが、制作にあたり本事業にご協力いただきました旅行会社、学校関係者、関係各位の皆様に心より感謝申し上げます。



開発プログラム 3 つのカテゴリー	02
海外教育旅行実施のロードマップ	03

Category 1 企業からの学びと国際ビジネス

 フィリピン ドイツ	地方から世界へ！世界を目指した企業から学ぶこと	04
 インド	世界を席巻する人材輩出国インド産官学共同プログラム	06
 フィリピン	セブ島での語学及び SDGs 研修留学プログラム	08
	ウィッシュインターナショナル株式会社 × 学校法人 KTC 学園 屋久島おおぞら高等学校	

Category 2 芸術・文化交流と平和の追求

 アメリカ	NY から発信する、アメリカと考える人間の尊厳	10
 台湾	音楽交流 / 文化交流を通して 東亜(アジア)の『平和』を奏でる	12
	名鉄観光サービス株式会社 × 帝塚山中学校・高等学校 弦楽部	

Category 3 異文化探究と国際交流

 韓国	グローバル探究アジアスタディツアー in 韓国ソウル	14
 フィリピン	フィリピン・セブにおける探究学習プログラム開発事業	16
 マレーシア	多民族国家での異文化探究とキャリアプランニング	18
 ブルネイ・ダルサラーム	ブルネイ・ダルサラーム国における異文化交流教育旅行	20
	株式会社エムアールシージャパン × 桜美林高等学校	

選定委員・アドバイザーのご紹介	22
プログラム問合せ先	23

3

開発プログラム 3つのカテゴリー

海外教育旅行プログラムは、各プログラムの育てたい生徒像、学習効果、方面によって様々なカテゴリーに分類されます。観光庁は、令和5年度「海外教育旅行プログラム付加価値向上支援事業」において、開発した9つのプログラムを以下の3つのカテゴリーに分けました。

1

Category



セブ島のタミヤ工場

企業からの学びと国際ビジネス

企業と学校が協力した教育プログラムにより、企業の海外とのつながり、生徒のキャリアアビジョンへ気づきを促します。



桃園市立平鎮国民中学校

2

Category

芸術・文化交流と平和の追求

文化交流、対話により平和について考えます。異なる文化と接する際の許容性、双方の主張に対する考え方を養います。

3

Category



ジャメ・アスル・ハサンル・ボルキア・モスク、通称「ニューモスク」

異文化探究と国際交流

多様な文化を理解し、異文化探究の理解と国際的な協力にどのように貢献するかに焦点を当てます。

海外教育旅行実施のロードマップ

高校2年生 秋の実施を想定

※プログラム内容によって期間は異なります。



株式会社レイライン
×
静岡県立清流館高等学校
×
株式会社タミヤ

フィリピン
ドイツ



地方から世界へ！ 世界を目指した 企業から学ぶこと

キャリア形成

異文化体験

探究学習



セブ島のタミヤ工場

プログラム概要

世界をフィールドとして活躍する企業が多い静岡。中でも60年以上前からドイツの見本市へ出展し続け世界一の品質を誇る模型メーカーへと成長した株式会社タミヤにフォーカスし、戦後すぐに世界を目指した理由を探ることにより、国際的な視野を持つ意義、起業家精神、国際社会への貢献、世界で働く意味を感じられるプログラムです。地域の国際企業を学ぶことによる雇用創出へのつながりも期待します。

プログラムの教育効果

地元のグローバル企業が、どのように世界市場と向き合ってきたのかを知ることにより、学生たちにも自身の可能性を見出してほしいと考えています。地方から世界という道もあることを実感してもらうとともに、海外から見る日本をることで、今自分が何をすべきなのかを考える機会を創出します。

世界にはたくさんの国があるのになぜフィリピンで創業したのか？ヨーロッパやアメリカなどの販売拠点はどうしてその場所を選んだのか？さまざまな国と仕事を結ぶタミヤを知ることで、他国と日本の特性を比較して学び、視野が広がることを期待します。

プログラム行程

コース① セブ島・マニラ(フィリピン)

- | | |
|-----|--|
| 1日目 | PM 飛行機にて一路、セブへ
その後、ホテルにて予習のまとめ |
| 2日目 | AM タミヤ工場視察（インフラ視察）
PM タミヤ工場視察（従業員インタビュー）
その後、セブ島歴史散策 |
| 3日目 | AM 飛行機にて一路、マニラへ
PM 歴史散策とスラム街（車窓視察） |
| 4日目 | AM 飛行機にて一路、日本へ |

コース② ニュルンベルク(ドイツ)

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 1日目 | PM 飛行機にて一路、ニュルンベルクへ |
| 2日目 | 終日 ニュルンベルグ国際玩具見本市視察 |
| 3日目 | 終日 会場周辺のフィールドワーク（コンベンションの効果検証） |
| 4日目 | 終日 ニュルンベルグ歴史文化探求 |
| 5日目 | PM 飛行機にて一路、日本へ |

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 3ヶ月を想定

事前学習 株式会社タミヤの研究、田宮俊作会長との意見交換・本社工場視察

事後学習 グループにて見学後のまとめ学習、田宮俊作会長へのプレゼンテーション

静岡県・静岡市のインキュベート施設「SOHO @しづおか」の入居者が中心となって立ち上げたNPO法人が事前・事後学習をサポートします。メンバー全員が起業家という特性を活かし、多種多様な業種の観点から学生たちの研究を支援します。



地方から世界へ！世界を目指した企業から学ぶこと

こ こ が ポ イ ン ト ！

株式会社タミヤを学ぶことにより

コース①

【世界に視野を広げた学び】を今の学びに活かす

創業者の話を直接聞くことができる貴重な体験を通じ、自分がなにをなすべきかを考える機会になり、勉強と将来の夢が結びつきます。世界に興味を持つきっかけとなるプログラムです。

株式会社タミヤとは？

1946年一般建材会社として静岡市で創業しました。多方面に事業展開後、木製模型製造販売へ転向、さらにプラスチックの上陸と共に、プラスチック模型に転向しました。自動車を購入して解体しパーツ製作を行うなど、リアルさを追求しています。「品質世界一」を誇り、設計から製造、販売まで一貫して行う「世界唯一の模型メーカー」です。

コース②

【コンベンションによる街づくり】を体感する

ドイツ・ニュルンベルクのトイショーに60年以上前から出展し、海外での事業展開を図ってきたタミヤ。これらのコンベンションによる街づくりを肌で感じ、地元で展開してきた「静岡ホビーショー」は今年62回目を迎えます。ニュルンベルクでは中心のブースに位置するタミヤを実際に現地をみて体感することで、地域貢献への意識を高め、都市構造のあり方について学べるプログラムです。

プログラム開発の成果

視察日程 1月／4日間の実施

視察成果

① 株式会社タミヤの現地工場視察

② マニラのスマーキーマウンテン視察

現地工場では、いかに日本式の社員教育、品質管理を保つ意識をしているのかを学生たちに注目して見学してほしいです。なぜフィリピンという場所を選んだのか、どのように世界で成功する企業となったのかなどを、見学を通じて学生自身が考える機会になることを期待します。



メッキ加工後の製品



マニラのゴミ山「スマーキーマウンテン」

安全対策

フィリピンのなかでも比較的に治安が良いセブ島。常識の範囲内での行動であれば問題はないと考えますが、市場散策時には団体行動を、マニラでは場所によっては車内からの見学のみといった安全対策を採ります。

学校関係者のコメント：静岡県立清流館高等学校 左口邦彦先生

昨今元気がない日本経済のなかでも、世界を目指した品質を徹底し続けている株式会社タミヤ。日本式の社員教育や品質管理へのこだわりは、現地視察時に私も非常に感銘を受けました。そんな現地の状況から、いかに日本のモノづくりが世界から評価されているのかを学生たちにも感じ取ってもらいたいですね。自分自身の無限の可能性を知り、人生の目標探しにまでつながるような経験となることを期待しています。

アドバイザーのコメント：立教大学 観光学部 名誉教授 村上和夫氏

日本企業がどのように国際社会に貢献しているのか、を実感できるプログラムだと考えています。日本企業の存在がフィリピンに何をもたらしているのか。株式会社タミヤの工場見学をはじめ、現地の市場を歩いてみることで見えてくることが多いでしょう。ニュルンベルクのトイショーでは、「コンベンションのある街づくり」を、そしてそのなかでいかに株式会社タミヤが輝いているのかを見てきてほしいと思います。



株式会社 JTB 横須賀支店

× 三浦学苑高等学校

× 株式会社ニフコ

インド



世界を席巻する 人材輩出国インド 産官学共同プログラム

キャリア形成

学生交流

大学訪問



NSDC 日本語研修センター

プログラム概要

名だたる世界的企業のトップクラスに人財を輩出する国として、今後のグローバルスタンダードを考えるうえでは欠かせないインド。そのインドの官民連携組織である「NSDC」と包括連携を結ぶ株式会社ニフコとの共同開催により、日本とインドの相互交流による学習プログラムを可能にします。

プログラムの教育効果

高校を卒業し、大学や社会人というリアルな世界に飛び込んでいくためには「実感価値」を体感できる経験、そして「国際人の育成」という観点での英語の学びが求められます。今後世界に影響を与えるであろうインドを訪問することにより、その双方に対する意識が高められることを期待しています。

プログラム行程

1日目	AM 飛行機にて一路、デリーへ PM ホテルにて事前ブリーフィング
2日目	AM スラム街にてインドの貧困の状況を知る（例：スロジャニマーケット） PM インドの大学視察（インド工科大学など）
3日目	AM NSDC 本部にて講座（インドの日本に対する見方を知る） PM NSDCI 日本語研修センターにて日本語を学ぶインドの学生と交流
4日目	AM インドの大学にて講座（世界を席巻する人材の教育方法を知る） PM NSDCI 日本語研修センターにてインドの学生と交流、お別れ会
5日目	PM 飛行機にて一路、日本へ



インドのスロジャニマーケット（インドの「雑踏」を学ぶ）

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 4～5ヶ月を想定

事前学習 「インドに進出する日本企業」から見た「アジア大国・インド」についてレクチャー

事後学習 参加学生から株式会社ニフコへのプレゼンテーション・NSDCI 日本語研修センターの学生とのオンライン交流会

事前学習では、インドが世界経済に与える影響やインド教育のあり方などについて紹介します。事後学習では、学生が主体となったプレゼンテーションを通じて「日本が世界に誇れるモノ・コト」についてディスカッションします。



世界を席巻する人材輩出国インド産官学共同プログラム

こ こ が ポ イ ン ト !

グローバルな視野を養う インドの学生とのリアルな交流

インド技能開発・起業促進省と密接に活動する官民連携組織「NSDC (インド国家技能開発公社)」との共同プログラム開催により、日本語を学び、日本で活躍したいと考えるインドの学生たちとの交流が可能になりました。ハングリー精神が高い、同世代の現地学生とのコミュニケーションが日本学生の意識を高めます。現地学生との交流から、インドから見た「日本の誇れるモノ」に対する気づきも得られると考えます。



NSDCI 日本語研修センターでの様子（インドの学生との交流プログラム）

プログラム開発の成果

視察日程 11月／4日間実施

視察成果

- ① 「日本語を学び、日本で働きたいインドの学生」との交流をプログラムのメインに採用
- ② NSDC の協力による、現地での多様な大学の視察
- ③ 衛生面・安全部面を考慮したホテルの選定
- ④ インドの現状を感じられる街としてスロジャニマーケットでの散策をプログラムに取り入れることを決定

混沌としながらもエネルギーがあり、それが経済成長の糧にもなっているインドの特徴を学生たちに感じてもらうため、雑踏感あるローカルマーケットやスラム街を見学します。多様な人々や環境と接することで、学生の視野を広げ、異なる価値観や背景を理解する力を養うことができます。また、インドの貧困の現実に直面することで、他者への理解や支援の意識が高まり、社会的な共感力が身につくことを期待します。



インドのスラム街（インドの「雑踏」を学ぶ）

安全対策

現地に精通した NSDC を通じて、衛生面・安全部面に配慮したホテルや移動手段を用意しました。参加学生たちには、事前に事例を用いた交通ルール説明やスラム街散策時の注意などをレクチャーすることで滞在中も安心して過ごせるようサポートします。

学校関係者のコメント：三浦学苑高等学校 教頭 野櫻慎二先生

日本の学生たちを見ていると、「自分に自信が持てない」「日本という国自体に魅力を感じない」といった内に籠る考え方を持っている子たちが多い気がします。それに対し、日本で働きたいと考えているインド学生たちは非常にエネルギーでポジティブ。日本の素晴らしさを日本人以上に感じています。そんな現地学生たちとの交流を通じて外から日本という国を見つめ直すことで、改めて「日本の良さ」に気づくプログラムになることを期待しています。

アドバイザーのコメント：昌平中学校・高等学校 校長 城川雅士氏

現代の世界経済において重要なポジションを占めるインド。その「インドを知る」ということは、これから時代に求められることであり、今の日本がインドに学ぶことも多いと思います。だからこそ、本プログラムでは結論ありきではなく、「学生自身がリアルに感じたこと」を大切にしたいと考えています。なぜ今インドなのか、いかに世界を牽引する存在になっているのかを、実際に現地に赴き、自分の目で見て、触れて、体感してもらいたいですね。



ウィッシュインターナショナル
株式会社
×
学校法人 KTC 学園
屋久島おおぞら高等学校

フィリピン



セブ島での語学及び SDGs 研修 留学プログラム

キャリア形成

学生交流

異文化体験

探究学習



現地校にて生徒交流

プログラム概要

貧富の差や教育格差などが複雑に絡み合うフィリピンにて、現場視察やボランティア活動を実践します。そのなかで相互理解を通じた学びを目的としたプログラムとして開催します。自国に留まらない越境的な学びや、英語での対話など、リアルな体験活動にフォーカスします。

プログラムの教育効果

現地でしかできない出会いや、人々との交流を通じて、新しい価値観に出会えるプログラムとして構成しています。英会話に関しても、講師とともに訪問先で学び、意見交換することで、参加学生たちに「なりたい大人」像を具現化させる機会を創出したいと考えています。

プログラム行程

1日目 PM 飛行機にて一路、セブへ

2日目 AM ゴミ山視察

PM 孤児院訪問・ボランティア

3日目 AM ホテルにて英語レッスン

PM 現地高校にて学生と交流

4日目 AM バランガイ訪問

PM インターンシップ（ホテル）

5日目 AM IT パーク訪問

PM 現地高校にて学生と交流

6日目 AM ホテルにて英語レッスン

PM ホテルにて修了式・振り返り授業

7日目 AM 飛行機にて一路、日本へ



セブ島のゴミ山



孤児院

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 3ヶ月～3ヶ月半を想定

事前学習 現地での学びの基盤づくり

事後学習 学んだことをアウトプットする報告会を実施

事前学習では、オンライン英会話レッスンや、国や訪問先に関する下調べ学習および日本制度・施設との違いを考える時間を確保します。現地での学びを深めるための準備期間とします。また、帰国後は学んだことをアウトプットする機会を設けます。



セブ島での語学及びSDGs研修留学プログラム

こ こ が ポ イ ン ト ！

現地の現状を肌で感じ
価値観の醸成・次の一步へつなげる

現地での学びをより深いものにするための事前学習から、現地視察・体験、毎日の振り返り授業、そして、自分の体験・経験・想いをアウトプットする事後学習までを一つのプログラムとして構成しています。さらに、セブ島内の高級ホテルでのインターンシップ体験も当プログラムの魅力です。職業理解だけにとどまらない、フィリピンの教育格差について横断的に学ぶ機会となります。



孤児院ボランティア

プログラム開発の成果

視察日程 1月／4日間の実施

視察成果

- ① 孤児院を訪問し、ボランティアの実施を確認
- ② ITパークの視察

視察後にプログラム内容を見直し、より学生たちが「新たな出会いや交流機会を多く持つこと」ができる内容に再構築しました。日本とはかけ離れた感覚を持つフィリピンにて、学生たちが現地で見聞きしたことを踏まえ、改めて自分は将来どうなりたいのかを考えるきっかけにしたいと考えています。



ITパーク

安全対策

安全面や衛生面を考慮しホテルに宿泊します。基本的に学生のみの外出は認めず、外出時は必ず大人が同行します。また、孤児院やゴミ山の視察時には現地エージェント手配のもと、現地ガイドとともに行動します。

学校関係者のコメント：学校法人KTC学園屋久島おおぞら高等学校 永井治奈先生

学生たちは、現地で目のこと、耳にすることを通して、五感を使って現実に触れてもらいたいと思っています。そして、そこで芽生えた気づきや感覚、違和感や疑問を大切に、「なぜだろう？」と自然に湧き出てくる疑問に対し、自身で考えることで仮説を持ち、自らの行動変容につなげてほしいです。教員側から課題を設定するのではなく、学生自らが気づき、考え、次の行動につなげられる真の探究学習に期待しています。

アドバイザーのコメント：一般社団法人Glocal Academy 代表理事 岡本尚也氏

ステレオタイプで物事を見るのではなく、良い意味で想像を裏切る体験をしてきてほしいと思います。フィリピンはアジアの新興国とは言え、日本より進んでいる点もたくさんあります。それは「価値観」も同じで、孤児院にいるからと言って哀れみの目で見てきてほしくないです。学生たには、実際に様々な人と交流し、リアルな現状を目の当たりにすることで社会的課題に向き合ってもらいたいと考えています。



株式会社 ATI

×
明星学苑 明星中学校・
高等学校

アメリカ



NY から発信する、 アメリカと 考える人間の尊厳

キャリア形成

学生交流

平和学習

ホームステイ

大学訪問



自由の女神像

プログラム概要

教育リソースの宝庫であるニューヨークにて、9.11 メモリアル&ミュージアムや国際連合本部訪問による平和学習を進めるとともに、領事館・コロンビア大学・日本人ガイドからの講演を通じてキャリア形成を考える機会を創出します。さらに、現地の学生たちとともにディスカッションすることで生まれる文化交流にも期待します。

プログラムの教育効果

アメリカ合衆国の独立を挟んだ盛衰、第二次世界大戦、さらには 9.11 の惨状などをまったく知らない学生たちがいる今、多様性のなかで平和に生きてゆくことの大切さを伝えたいと考えています。課題解決に向けての平和的思考の構築や、英語をツールとした平和のための持続的な交流を目指しています。

プログラム行程

1日目	AM 飛行機にて一路、ニューヨークへ 着後、クイーンズ地区ホームステイエリア
2日目	PM コロンビア大学訪問
3日目	AM 国際連合本部訪問 PM ニューヨーク日本領事館訪問
4日目	AM 9.11 メモリアル&ミュージアム訪問 PM ニューヨーク日本領事館訪問
5日目	AM コロンビア大学訪問 PM キャリア育成プログラム
6日目	AM テーマ別研修 PM 現地校訪問

7日目 土曜日 ホストファミリーと過ごす週末

8日目 日曜日 ホストファミリーと過ごす週末
その後、飛行機にて一路、日本へ

9.11 メモリアル&ミュージアム

移民国家らしく、さまざまな国の料理が
融合したメニューが並ぶ屋台

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 2~3ヶ月を想定

事前学習 マンツーマンでのオンライン英会話、日本における平和学習

事後学習 パネルを使った文化祭での成果発表、現地校との相互交流を継続

英会話レッスンでは外国人との会話への慣れや、ディスカッション時に必要な会話力を鍛えます。同時に、9.11 を知らない学生たちに当時の状況・背景を共有します。事後学習では、学生たちが実際に現地でどう考え、平和に対してどのような考えを持ったのかを発表できる場を設けます。



NY から発信する、アメリカと考える人間の尊厳

こ こ が ポ イ ン ト !

世界的都市・ニューヨークで GRIT(やり抜く)力を高める

2001年に起った9.11をはじめ、アメリカが関わる暴力事件・戦争など、様々な惨劇を乗り越えながらも、未来平和へと果敢に立ち向かっていくニューヨーカーたち。現地に住む人々と触れ合うことで、その姿勢を学んでほしいと考えています。その点、本プログラムではニューヨークでホームステイ体験ができることも強み。安全に文化交流ができる環境が整っています。

9.11 同時多発テロ事件とは？

2001年(平成13年)9月11日に発生した米国における同時多発テロ事件は、旅客機4機を同時にハイジャックし、乗員・乗客と共に世界貿易センタービルに突入させるという前例のない手口により、テロ事件としては過去最悪の3,000人を超える犠牲者(行方不明者を含む)を出し、世界に衝撃を与えました。

プログラム開発の成果

視察日程 12月／7日間実施

視察成果

- ① 9.11 メモリアル&ミュージアムで受けた衝撃・重み
- ② 宿泊先をホームステイとすることの重要性
- ③ 街歩きで見えてくるものの大切さ
- ④ 講演候補（領事館・コロンビア大学・日本人ガイド）との打ち合わせ

世界で大きな仕事に携わる人物たちの声を間近で聞くことが、キャリア形成にもつながると考え、講演を開講します。参加学生たちが興味のある講話を聴けるよう、複数の講話プログラムを設けます。



国際連合本部の総会ホール

安全対策

株式会社 ATI のこれまでの知見を生かし、ホームステイ先の選定、連絡体制、事前学習準備までを整えます。自由行動に関しても、学校・現地と連携を取り、事前に手段・範囲を特定した上で準備します。

学校関係者のコメント：明星学苑 明星中学校・高等学校 飯島崇史先生

高校生は良くも悪くも発展途上です。経験値が低い分、机上でどんなに概念や理論を語っても実感が薄く、誤って捉えがち。そんななか、本プログラムでは「GRIT」に織り込んだ概念を学生たちに体感させることで、キャリアや文化観について考えることの楽しさを実感してもらえると思います。また、家族の一員となるホームステイができるというのも貴重な経験です。GRIT力を伸ばす一助にもなると考え、非常に期待しています。

アドバイザーのコメント：一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構 理事・事務局長 中野憲氏

「アメリカ」と一言で言っても、東と西ではまったく感覚が違うもの。選ぶ地域によって学べる内容も大きく変わってきます。その点、ニューヨークは文化・歴史・ビジネスなど、学習素材が非常に豊富に揃っている場所です。プログラムのポイントともなる「9.11 メモリアル&ミュージアム」の見学を通じ、当時を知らない学生たちがどう捉えるのか、フィードバックが楽しみです。学生たちには、広い視野を持って参加してもらいたいですね。



名鉄観光サービス株式会社
×
帝塚山中学校・高等学校
弦楽部

台湾

音楽交流 / 文化交流を通して 東アジアの『平和』を奏でる

キャリア形成

学生交流

平和学習

ホームステイ



帝塚山中学校・高等学校弦楽部

プログラム概要

日本と歴史的な繋がりが深い台湾にて「平和学」を身につけるとともに、同年代との「音楽交流」を通して、東アジアの平和維持にフォーカス。異なるバックグラウンドを持つ学生たちがともに音楽を奏することで、国境を越えた感動を体感できるプログラムとして実施します。

プログラムの教育効果

本プログラムでは、思考力・判断力・表現力を磨き、高い知性と豊かな情操を備えた、次代を担うたくましい人材の育成を狙いとしています。同年代との交流・対話を通して「戦争のない平和な社会」を学生たち一人ひとりが自分ごと化して捉えられるようになることを期待します。

プログラム行程

- 1日目 PM 飛行機にて一路、台北へ
夜 ホテルにて演奏練習
- 2日目 終日 ホストファミリーと共に休日を過ごします
朝 ホームステイを提供する新北市立永和国民中学校の在校生(パディ)と登校
新北市立永和国民中学校
- 3日目 終日 音楽交流と授業体験「平和対話」など
その後、郊外観光(九份、天燈上げなど)
- 4日目 AM 桃園市立平鎮国民中学校(簡単な演奏など)
PM 飛行機にて一路、日本へ



九份

天燈上げ

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 8ヶ月を想定

事前学習 有識者による講座、帝塚山大学によるアクティブラーニング

事後学習 研修を通じて学んだ「平和学習」のワークシート作成

事前に共通課題を設けることによって、スムーズに現地でのグループワークに入れるように準備します。そのためにも東アジアの情勢や関係性などの理解を深められる講座や、「平和対話」をスムーズに進めるための模擬体験(グループワーク)を実施します。

音楽交流 / 文化交流を通して 東亜の『平和』を奏でる

こ こ が ポ イ ン ト !

音楽を奏でることで生まれる マルチトラック外交

マルチトラック外交は、政治だけではなく、企業・メディアなど複数の交渉ルート（トラック）を使って様々な意見や利益を考慮し、問題を解決する外交の手法です。プログラムでは、言葉を介さなくても通じる音楽により、国境を超えた対話をすることで、「国際外交」を体感します。「知る平和学習」から「考える平和学習」へ。外交交渉を自分ごと化して考えられるようになることを期待します。



新北市立永和国民中学校

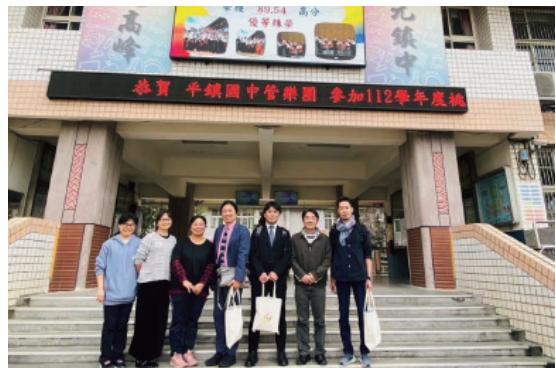
プログラム開発の成果

視察日程 1月／4日間の実施

視察成果

- ① プログラムの具体性・可能性の把握
- ② 現地校との詳細なミーティングの実施
- ③ 現地での安全管理対策

約50年間日本が統治していた歴史を持つ台湾。どのようにそれらを乗り越えてきたのかを知ったうえで音楽交流をすることが、より良好な関係づくりに繋がると感じています。言葉では十分にコミュニケーションが取れないなかで、一つのものを協力して作り上げることから生まれる関係性に期待しています。



桃園市立平鎮国民中学校

安全対策

現地学校との演奏時は適切なスペース確保・換気などを行い、感染対策を心がけます。現地ホテル・バスにおいては手配に基づき安全対策を徹底します。現地オペレーターと連携を取り、緊急時にはすぐに対応ができる体制を整えています。

学校関係者のコメント：帝塚山中学校・高等学校 寺島洋之先生

台湾での音楽交流 / ホームステイ交流を通して、異文化理解はもちろんのこと、違った生育環境で過ごしてきた若者たちが共に音楽を奏で、そして、お互いの奏でる音楽を聞き合う。

「奏でる」。この言葉は、人の心にとても美しく、優しい響きを伝えてくれます。音楽は人に感動を与えます。そして、人の心を動かし、暫し争いの手を休め、苛立つ気持ちを鎮め、穏やかな心を取り戻す力を持っています。それが、たとえ紛争中のロシアの音楽であってもその美しさ・魅力は全く減じるものではなく、国境を越えて聴く人を感動させます。つまり音楽は「世界平和の礎」となりうるということです。こうした経験を積んだ生徒は、きっと共感と協調の可能性を実感し、断絶をよしとはしない姿勢を身に付けてくれるものと考えます。

アドバイザーのコメント：昌平中学・高等学校 校長 城川雅士氏

論理や原理ではなく、「心から平和な世界を願う」という環境が実現できるのが本プロジェクトの強みだと考え、企画にあたってもアドバイスをしてきました。単なる座学の平和学習とは違う、音楽という国境を越えたツールでつながることによって、より国際平和を「自分ごと化」して捉えることができると思っています。異なる国に足を運ぶことが、ひとつの外交・交渉でもあることを実感してもらえたなら良いですね。



株式会社 JTB 奈良支店
×
奈良県立国際高等学校

韓国



グローバル探究 アジアスタディツアーエ in 韓国ソウル

学生交流

探究学習

大学訪問



世宗国際高校

プログラム概要

3年間のグローバル探究授業の一環として、最も身近な東アジアの国である韓国でフィールドワークを実施します。SDGsに資するグローバル課題についての協議や、現地大学・施設訪問などを通じて個人探究の推進を図ります。また、異文化に触れることで多文化・多様性に対する寛容さを身につけることを期待します。

プログラムの教育効果

探究学習を通じた交流のなかでグローバル感覚や思考を養い、将来グローバル人材として活躍するための資質を伸ばしていきます。また、現地でSDGsに対して真剣に向き合う大人や学生たちとの触れ合いを通じて、課題をより「自分ごと化」して捉えて取り組む姿勢を醸成していきます。

プログラム行程

- 1日目 AM 飛行機にて一路、ソウルへ
PM ソウル市内観光・文化体験
- 2日目 総日 世宗国際高校と交流 / 探究学習
探究テーマ別に探究活動
- 3日目 総日 延世大学にてテーマ別授業を聴講
培花大学生との交流
テーマ別プログラムの実施
- 4日目 AM 南大门市場・梨泰院
PM 飛行機にて一路、日本へ



世宗国際高校の探究発表会の様子

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 10ヶ月を想定

事前学習 探究学習のテーマ決め、現地パディとの事前交流

事後学習 論文としてまとめる、探究内容を連携機関にフィードバック

探究学習では、個人で設定したテーマをもとに少人数もしくは1対1のパディを事前に決定。事前学習で互いの自己紹介やテーマ説明などを終えたうえで現地でのスタディツアーエに臨みます。また、同テーマについて事前に日本で課題解決に向けた取り組みをすることで日本と韓国の課題比較をします。



グローバル探究アジアスタディツアーア in 韓国ソウル

こ こ が ポ イ ン ト !

現地バディとの関係を築く
国境を越えた探究学習の実施

「いのちと地球の調和を保つ」「理解と尊重で世界をきずく」「公正で公平な未来をつくる」という3つの大きなテーマを軸に、学生たちが個人のテーマ課題を設定します。選定テーマをもとに現地学生とバディを組み、探究学習を進めていきます。課題テーマを通じた深い交流により、帰国後も継続した関係性が築けるプログラムとなることを期待しています。



延世大学正門

プログラム開発の成果

視察日程 12月／3日間の実施

視察成果

- ① 延世大学ではテーマ別授業の開講を検討
- ② 姉妹校である世宗国際高校との交流イメージの確立
- ③ 国立国際教育院の寮への宿泊を検討

視察を通し、世宗国際高校との交流イメージが明確になります。単なる国際交流ではなく、「探究学習」という一つのテーマに沿ったプログラムとして確立できそうです。また、国立国際教育院の寮へ宿泊することで、海外留学生との交流にも期待できます。



国立国際教育院

安全対策

個人単位の探究学習においても、可能な限り学生が主体となって行動できるようサポートします。現地対策本部を設置し、ランドオペレーターと協力して迅速かつ万全な体制を整えます。

学校関係者のコメント：奈良県立国際高等学校 中尾雪路先生

当校には世界の言語を学ぶ授業があり、2年生からは選択した言語を週に2時間学ぶという体制を採っています。韓国語を学んできた学生たちはオンラインで世宗国際高校と交流をしてきましたが、実際に対面交流するのは今回が初めてです。現地で会えることを楽しみにしている学生も多いと思います。国は違えど抱える課題は同じです。考え方の相違から、異文化を理解するという寛容な気持ちも身につけてきてほしいですね。

アドバイザーのコメント：一般社団法人 Glocal Academy 代表理事 岡本尚也氏

「価値の相対化」が本プログラムにおいて一番の本質となると考えています。同じような社会課題について議論を行っても、その背景や捉え方は異なる場合がほとんどで、実際に私たちが普段見ているのは世界の表層面だけだということにも気づけるでしょう。課題に対する理解の広さも、深さもまだまだあるということを学生たちには実感してほしいと思います。日常生活に何か物足りなさを感じている学生たちの刺激にもなるはずです。



グローバルサービス株式会社
×
かえつ有明中・高等学校

フィリピン



フィリピン・セブにおける 探究学習プログラム 開発事業

学生交流

異文化体験

探究学習



地元の人で賑わうカルボンマーケット

プログラム概要

英語体験・社会体験・自然体験の3つの領域に焦点を当てたプログラムです。英語体験ではフィリピンの歴史・文化・社会経済に関連した素材を教材として取り入れ、探究学習にも結びつけます。社会体験では児童養護施設を訪問しての交流、モールや市場の一角を借りての屋台運営を実施します。自然体験ではビーチリゾートに滞在をして、観光地としてのセブを体験します。

プログラムの教育効果

豊かで安心して暮らせる日本からアジアの新興国であるフィリピンに視野を広げることにより、学生たちに社会課題についての認識を深めてもらうことを目的としています。また、現地での様々な交流を通じ、実際の英語運用能力の必要性を再認識する結果になることを期待しています。

プログラム行程

- 1日目 PM 飛行機にて一路、セブへ
- 2日目 AM フィリピン人スタッフとチームビルディング
PM セブ市内観光
- 3日目 AM CSPが運営する語学スクール「タビスタ」にて英語レベル分けテスト
PM 歴史を振り返るワークショップ
- 4日目 AM 「タビスタ」にて英会話レッスン
PM 社会文化理解のワークショップ
- 5日目 AM 「タビスタ」にて英会話レッスン
PM 経済と日本ODAのワークショップ
- 6日目 AM 「タビスタ」にて英会話レッスン
PM モール見学
- 7日目 習日 アイランドホッピング(島巡り)
- 8日目 習日 児童養護施設訪問交流

- 9日目 AM 「タビスタ」にて英会話レッスン
PM 市場見学
- 10日目 AM 「タビスタ」にて英語レベル分けテスト
PM 屋台出店に向けたマーケティング企画
- 11・12日目 AM 「タビスタ」にて英会話レッスン
PM 屋台出店に向けたマーケティング企画
- 13日目 習日 屋台出店準備と販売体験
- 14日目 AM 「タビスタ」にて英会話レッスン
PM 中間報告プレゼンテーション準備
- 15日目 AM 「タビスタ」にて英語到達度テスト
PM 中間報告会とパーティー
- 16日目 AM 飛行機にて一路、日本へ

事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 8ヶ月を想定

事前学習 オンライン英会話、探究学習で調査したい内容のヒアリング

事後学習 探究学習テーマを校内で広く共有

現地での探究学習をより深めるための事前学習を想定しています。また、英会話レッスンをスムーズに進めるために、渡航前からオンラインで英会話の交流を実施します。これまで国内で行ってきた様々な探究学習を、海外にまでフィールドを広げることで、その意義を学ぶ機会とします。



フィリピン・セブにおける探究学習プログラム開発事業

こ こ が ポ イ ン ト !

海外をフィールドに 屋台運営を通じた探究学習

学生たちに馴染みのある「探究学習」のフィールドを海外に移して展開。現地スタッフが帯同する小グループ単位でマーケティング調査を行い、商品・価格帯などを把握したうえで屋台運営を実施します。これまで日本国内で経験してきた課題解決に加え、現地での学びを通じて屋台の運営から経済の流れを体感してもらうことを狙いとしています。



屋台運営を実施する市場

プログラム開発の成果

視察日程 1月／5日間の実施

視察成果

- ① 現地旅行会社 CSPトラベルを通じた
児童養護施設やモール、市場、その他観光施設の視察
- ② セブの交通事情、各施設の位置関係、移動時間などを確認
- ③ 学生たちの英語学習環境の確認

視察を通じ、よりリアルなセブの現状を目の当たりにしました。プログラムに参加する学生たちには、メディアで得られる情報だけでなく、実際に現地を訪れ、地元の人々との交流を通じてリアルなセブを直接体験してもらいたいと考えています。そしてその経験から得られる感動や気づきを将来の人生に活かしてほしいです。



市内観光で訪問するフィリピン最古の要塞 "サンペドロ要塞"

安全対策

現地に精通している旅行会社 CSPトラベルとのやり取りを通じて、ホテル・移動手段などは安全管理を徹底。市場調査前には学生たちに注意喚起し、行動時も先生および現地の学生アシスタントが同行します。

学校関係者のコメント：かえつ有明中・高等学校 斎藤綾桂先生

ディープラーニングとグローバルが組み合わさった国際交流プログラムの不足という本校の課題に向き合うために、今回は嘉悦大学経営経済学部生向けの研修プログラムを、高校生向けに開催するに至りました。単なる語学研修ではなく、英語で探究学習を行う国際交流プログラムとして開発しています。一人ひとりが持つ個性と才能を生かし、主体的に行動できる人材の形成に繋がることを期待しています。

アドバイザーのコメント：一般社団法人海外留学協議会 事務局長 星野達彦氏

海外で探究学習を実践するうえでは、「多様性」を理解するということが肝になってくると考えています。日本国内で過ごすなかでは出合うことのない、アジアの新興国ならではの考え方や視点を受け入れ、理解するまでに至るプログラムとなれば嬉しいです。これから的人生にも大きく影響を与える体験となるでしょうから、学生たちには主体性を持って動いてもらいたい。貴重な時間を大いに楽しんできてほしいですね。



株式会社 JTB 教育第一事業部
× 留学情報館
× 淑徳中学高等学校

マレーシア



多民族国家での 異文化探究と キャリアプランニング

キャリア形成 学生交流
大学訪問 探究学習



クアラルンプール市内ツインタワー

プログラム概要

多民族国家・マレーシアにて、様々なバックグラウンドを持つ現地大学生との交流・リサーチ活動を通じて多様な視点から議論を生み出します。また、複数の大学を訪問することで海外大学の研究内容や学習環境に対する理解を深め、進路・キャリアについても考えられるプログラムを実施します。

プログラムの教育効果

国内では難しい多様性を持った探究学習を、海外の大学生との交流のなかで進めることで英語コミュニケーション・異文化コミュニケーションに対する自信をつけます。それにより、参加学生たちの探究心が刺激されることを期待。高校卒業後の進路において、海外進学という新たな選択肢も生み出します。

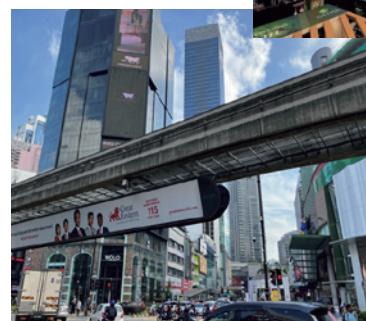
プログラム行程

- 1日目 PM 飛行機にて一路、クアラルンプールへ
- 2日目 AM アジア・パシフィック大学にて学生と交流、キャンパスツアー・ワークショップ
PM クアラルンプール市内観光
- 3日目 AM ヘルプ大学にて学生と交流・キャンパスツアー
PM 企業訪問、キャリアプラン作成
- 4日目 午後 テイラーズ大学にて学生と交流・キャンパスツアー・ワークショップ
- 5日目 AM 大学生との市内リサーチ活動
PM 大学生との市内リサーチ活動、フィールドワークまとめ・プレゼン準備
- 6日目 AM プrezent準備
PM プrezent発表 最終セッション・リサーチ結果の振り返り・キャリアプラン作成
- 7日目 PM 飛行機にて一路、日本へ



クアラルンプール市内

フィールドワーク (イメージ)



事前学習・事後学習

募集開始からプログラム実施までの準備期間 8ヶ月を想定

事前学習 マレーシアの歴史学習・生徒意識調査・研究内容の選定と事前リサーチ

事後学習 大学リサーチ、海外大学進学カウンセリング

異文化理解を深められるよう、事前学習では JTB や留学情報館のマレーシア国籍スタッフがマレーシアの歴史や現状、多民族国家になった背景などについて説明します。事後学習では現地での研究内容をもとにした具体的な解決策の提案、留学情報館の海外大学進学の出願等のサポートまでを予定しています。



多民族国家での異文化探究とキャリアプランニング

こ こ が ポ イ ン ト ！

実践的な学びが期待できる ティラーズ大学でのワークショップ

東南アジア地域 No.1 の私立大学であるティラーズ大学で、リアルに「海外で学ぶ」体験ができるのが大きな特長です。日本の大学ではなかなか目につくことのない、整った研修・研究設備がプラクティカルなワークショップの実施を可能にします。近年では日本人の進学先としても注目を浴びる同大学で、実際にセッションを受けることにより海外進学に対する意識も向上すると考えられます。



ティラーズ大学ビジネスワークショップ一例 (TRADING ROOM)

プログラム開発の成果

視察日程 1月／3日間実施

視察成果

- ① 市内リサーチ活動エリアの決定
- ② アジア・パシフィック大学、ヘルプ大学のキャンパス・寮を見学、アジア・パシフィック大学ではワークショップの開催も検討
- ③ テイラーズ大学のキャンパス・寮・研修施設を見学

働くために必要なスキルを体系的に学ぶボケーションナルスクールでの研修・ワークショップ等を通じて、具体的なキャリア形成を意識することができます。進路選択の新しい発想を学生たちに得てもらうきっかけづくりにもなるプログラムとして企画しています。



アジア・パシフィック大学キャンパス内



アジア・パシフィック大学 VR・XR 講習室



ティラーズ大学ボケーションナル研修講習室



ティラーズ大学キャンパス内学生寮

安全対策

東南アジアのなかでも比較的に治安が良いマレーシア。フィールドワークでは安全部位を考慮し、ショッピングセンター内で完結するリサーチ活動を実施します。協力大学の学生をメンターとして帯同させます。

学校関係者のコメント：淑徳中学高等学校 中倉祐一先生

大学生との交流や大学でのワークショップなどを通じて、「海外の大学への進学」を進路の一つとして考えてほしいと思っています。また、高校での“学び”と、大学での“研究”的違いを学生たちに意識してもらうということが、今回のプログラムの大きな狙いです。正解のない課題に対して自ら調査方法を考え、アプローチし、結論を出す。その一連の研究の流れを実際に体感し、自身のキャリアを考えるきっかけにもしてほしいと考えています。

アドバイザーのコメント：立教大学 観光学部 名誉教授 村上和夫氏

現在の日本の教育では、自分がいかに世界に貢献していくべきか、そしてそのために自分にとつて必要な知識・スキルは何かということを学ぶ機会がなかなかないと思います。しかし本来であれば、将来のキャリアを考えるうえで欠かせないことです。本プログラムは、そんな考え方を身につけるための準備期間として当ててもらいたいと思っています。自分のスキルを上げることで、世界に貢献できる機会も増えていくということを体感してもらえたなら嬉しいです。



株式会社
エムアールシージャパン
×
桜美林高等学校

ブルネイ・ダルサラーム



ブルネイ・ダルサラーム国における異文化交流教育旅行

キャリア形成

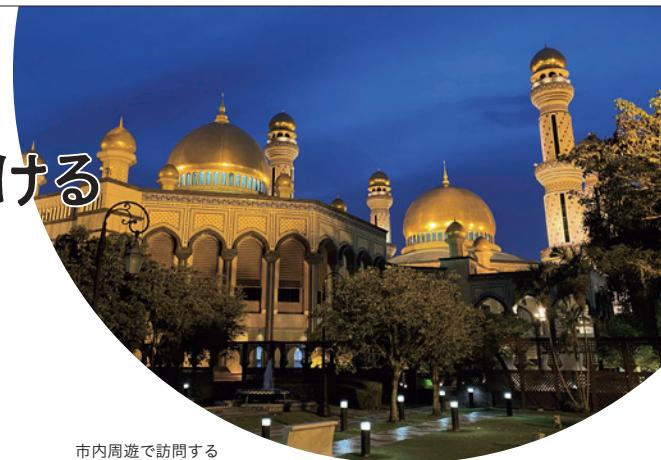
学生交流

異文化体験

ホームステイ

市内周遊で訪問する

ジャメ・アスル・ハサナル・ボルキア・モスク、通称「ニューモスク」



プログラム概要

本プログラムは、「アントレプレナーシップの育成」を軸に据え、日本人としてほとんど知らない国を知ることから始め、その国と新たに関係を築き、そして新たな価値を創造する体験を創出します。異文化・異宗教との遭遇、英語の語学力向上、治安が良く安全と環境の揃ったブルネイを舞台に新しい教育プログラムを行います。両国の大使館訪問をはじめ、単なる短期研修ではなく、国家間の取り組みに昇華し、意識付けを徹底するのも特徴です。

プログラムの教育効果

アントレプレナーシップには、新しい時代に必要な力の要素が多く含まれています。すなわち異なる価値観・多様性への受容力、問題の発見と解決方法を模索しアウトプットする力、高いコミュニケーション力と協働性、などです。日本から見て全くの非日常の国でこそ、日常の殻を捨てることができ、新たな発見と大きな成長につなげられると考えています。

プログラム行程

1日目 AM 飛行機にて一路、バンダルスリブガワンへ
PM 専用車にて市内周遊

2日目 AM 在ブルネイ日本大使館にて表敬訪問
PM 市内周遊

3日目 AM カンボンアイールにて水上集落ツアーなど異文化体験
PM セントジョージズスクールにて挨拶

4日目 締め DARE of Brunei にてアントレプレナーシッププログラム

5日目 AM ツトン地区にてマーケット・自然体験
PM ツトン地区にて自然・農業体験

6日目 締め テンブロン地区にて自然・食住文化体験

7日目 AM セントジョージズスクールにて授業
PM ブルネイ公立学校にて交流プログラム

8日目 締め ホストファミリーと過ごす

9日目 AM セントジョージズスクールにて授業
PM 研修旅行全体の振り返り

10日目 AM セントジョージズスクールにて授業
PM ホストファミリーと過ごす
飛行機にて一路、日本へ

事前学習・事後学習

募集からプログラム実施までの準備期間 3ヶ月を想定

事前学習 日本人アントレプレナーやブルネイにゆかりのある日本人とのセッション/在日ブルネイ大使館表敬訪問

事後学習 研修で得た成果を、両国大使館やお世話になった現地学校の人・ホストファミリーへオンラインで発表

事前学習では日本人アントレプレナーや、日本がブルネイを統治していた時代の知事の子孫を招いて参加生徒とのワークショップを実施して学びの土台を形成します。在日ブルネイ大使館への表敬訪問を通じて責任感と目的意識を高めます。帰国後は研修を通じて抽出したソリューションを、大使館やお世話になった方々へオンラインで発表します。



ブルネイ・ダルサラーム国における異文化交流教育旅行

こ こ が ポ イ ン ト !

【ブルネイ・ダルサラーム国とは？】

経済水準が高く裕福

安全に宗教理解を深められる！

ブルネイは、石油や天然ガスの産出で豊かな富を享受する国ですが、世界的にSDGsや脱炭素の動きが強まる中、新たな産業を創出することが大きな課題となっています。本プログラムでは、可能な限り地元ブルネイ人・生徒と時間を過ごせるよう、ほぼ全行程に現地人を巻き込んだ形になっており、日本の学生がブルネイの歴史・文化・宗教・課題に触れ、日本との相違や共通点に気づくこと、そしてアントレプレナーシップを学ぶことを通して両国や世界の課題解決への力を育んでいくことができます。



市内周遊で訪問するブルネイの象徴

「スルタン・オマール・アリ・サイフディン・モスク」

プログラム開発の成果

視察日程 1月／5日間実施

視察成果

- ① スタートアップ企業が集まる「DARE of Brunei」を視察
- ② ブルネイ財務経済省との打ち合わせ
- ③ 異文化体験・民俗文化体験の実現可能性の確認

国の特性上、正面玄関からの依頼ではなかなか動かないため、内閣府の青年国際交流事業のような国家間の取り組みにおけるアルムナイネットワーク等を活用し、日本にゆかりのある人的資源を動員して内側から構築する必要がありました。今回の事業により、国のサポートのもと普通では構築の難しい濃い内容のプログラム開発を行えました。



ブルネイの経済成長を支える DARE of Brunei

安全対策

エネルギー資源で成り立つ国家であり、経済的にも豊かで治安が非常に良いブルネイ。街も非常にきれいで落ち着きがあり、活動しやすい環境が整っています。各アクティビティ開催時には、スタッフと現地学生が引率します。

学校関係者のコメント：桜美林高等学校 宇野真泰先生

このプログラムに参加する生徒には、ブルネイと日本の関係性を知り、今後どのような関係性を築いていけば持続可能な社会・世界を創り出すことができるのか、学生たちが自ら社会課題に向き合う姿勢を育むことを期待しています。また、本校はキリスト教主義の学校ですが、イスラム教の文化に触れることで、キリスト教に対する理解を深められ、自分の世界を広げるきっかけにもなると考えています。

アドバイザーのコメント：一般社団法人性世代教育ネットワーキング機構 理事・事務局長 中野憲氏

宗教を学ぶとともに、アントレプレナーシップ精神を養う機会を創出する、非常に練られたプログラムだと感じています。初めて海外に訪れる学生たちも多いなか、ブルネイでホームステイまでできるというのは非常に価値ある体験になるでしょう。どうしても欧米に向きがちな視点を、あえてブルネイという国に向けることで見えてくることが多いと思います。ぜひ10代ならではの視点で、未知の世界との出会いを楽しんできてほしいですね。



選定委員・アドバイザーのご紹介

プログラムを選定し、開発にあたっても、さまざまな観点から意見をいただいた有識者を紹介します。

立教大学観光学部名誉教授 村上和夫氏



立教大学社会学部卒、同社会学研究科応用社会学専攻修士課程修了（社会学修士）。同観光学研究所研究員、萩女子短期大学助教授、横浜商科大学専任講師、立教大学観光学部教授、学校法人立教学院理事、立教新座中学校・高等学校校長を経て立教大学名誉教授（現在に至る）
2015年東京都荒川区顧問、荒川区観光振興懇談会座長（現在に至る）
2020年観光庁「初等中等教育における観光教育の推進に関する協議会」副座長、同「高等学校普通科分科会」座長（至2021年度）

専門分野

観光学全般
観光教育
観光振興
初等中等高等教育

一般社団法人 Glocal Academy 代表理事 岡本尚也氏



慶應義塾大学理工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学にて物理学博士号を取得。その後オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。その後ケンブリッジ大学在学中の研究成果が「Nature Materials」等、世界トップジャーナルに論文が掲載された。帰国後、2016年より現職。文部科学省中央教育審議会臨時委員（高等学校の在り方WG）、経済産業省産業構造審議会教育イノベーション小委員会委員、東京大学先端科学技術研究センター客員上級研究員、鹿児島市教育委員、2018年米国国務省事業International Visitor Leadership Program (IVLP) メンバー。

専門分野

物理学
人材開発
課題研究
探究学習
経営コンサル

一般社団法人海外留学協議会 事務局長 星野達彦氏



30年以上の留学事業経験を活かした国際教育事業コンサルティングを行いつつ、留学業界団体や国際交流事業を行う財団の理事としての仕事や留学関連本の執筆などを行っている。業界最大手エージェントにて執行役員として事業開発、マーケティング、留学雑誌プロデュース、危機管理、営業支援システム構築、支店やWebサイト立ち上げなどを行ってきた。日本認定留学カウンセラー協会 (JACSA) を設立し、留学カウンセラーの育成にも取り組んでいる。
講演：東京都教育委員会より依頼「留学の実態とキャリア」（教員向け）

専門分野

海外留学
海外研修
国際交流事業

一般社団法人性世代教育ネットワーキング機構 理事・事務局長 中野憲氏



国際理解教育・海外研修・留学の専門企業を経て、株式会社JTBへ入社。国際交流推進室長、国際交流センター長、教育事業ソリューションセンター長、企画開発プロデュースセンター企画開発担当部長を歴任後、2023年4月に「次世代教育ネットワーキング機構」を設立し、現職。現代日本における教育のパラダイム変遷の時期に、グローバル領域も見据えた次世代教育の推進・浸透を目指して教育全般の高度化を目指す。また、多角的なアプローチによる教育界への情報発信や提言と、様々な教育プログラム開発及び運営に従事。令和3年度 観光庁「初等中等教育における観光教育の推進に関する協議会」アドバイザー委員

専門分野

国際理解教育
国際交流事業
次世代教育

昌平中学校・高等学校 校長 城川雅士氏



「世界を変えられるのは教育」という想いをもち教員を目指し、東京学芸大学教育学部卒。卒業後は民間企業などの勤務を経て、1995年香川県の私立中高一貫校に初任。その後、民間の大手塾の運営部長などを務めた後、草創期の香川誠陵中学高校で学校づくりに参画。進路指導、生徒募集などを中心的に進める。同校で教務部長、教頭を歴任した後、2006年昌平高校に教頭として着任。経営母体の法人が移管される時期に、学校再生を託され、学校改革の陣頭指揮を担った。2010年より現職。

専門分野

学校経営
学校運営
中等教育全般
生物学

文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト 広報・マーケティングチームリーダー 西川朋子氏



上智大学法学部を卒業後、人材、出版業界、メディア事業会社経営、PR会社、IT企業広報など民間企業で15年働いた後、2014年4月から現職。2015年、母校、神奈川県立湘南高校の同窓会による公益財団法人湘友会育英財団の設立に参画、奨学金審査委員。
2018年、一般社団法人ヨコグシ設立、代表理事に就任。文部科学省から広報戦略アドバイザー業務を受託する他、行政機関等から広報審査委員、広報研修講師などを受託。2019年、米国国務省インターナショナルビジターズ・リーダーシッププログラム(IVLP)選出。
2022年より公益財団法人国際人材交流支援機構理事。

専門分野

海外留学
海外研修
官民協働事業
広報・マーケティング

プログラム問合せ先

プログラム名	担当旅行会社	住所	電話
フィリピン・ドイツ 「地方から世界へ！世界を目指した企業から学ぶこと」	株式会社レイライン	〒416-0909 静岡県富士市松岡 1170-1	0545-60-4192
インド 「世界を席巻する人材輩出国インド産官学共同プログラム」	株式会社 JTB 横須賀支店	〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町 14-1 ニッセイ横須賀センタービル 6 階	046-824-4216
フィリピン 「セブ島での語学及び SDGs 研修留学プログラム」	ウィッシュインターナショナル 株式会社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-22-2 新宿サンエービル 1F	03-5322-7250
アメリカ 「NY から発信する、アメリカと見える人間の尊厳」	株式会社 ATI	〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-4-1 神田岩本町プラザビル 8 階	03-5829-6396
台湾 「音楽交流 / 文化交流を通して東亜（アジア）の『平和』を奏でる」	名鉄観光サービス株式会社	〒450-8577 名古屋市中村区名駅南 2 丁目 14-19 住友生命名古屋ビル 9 階	052-581-5435
韓国 「グローバル探究アジアスタディツアーア in 韓国ソウル」	株式会社 JTB 奈良支店	〒630-8115 奈良県奈良市大宮町 3-4-29 大宮西田ビル 7 階	0742-30-5100
フィリピン 「フィリピン・セブにおける探究学習プログラム開発事業」	グローバルサービス株式会社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-2-31 ヒューリック神保町ビル 5 階	03-3262-6330
マレーシア 「多民族国家での異文化探究とキャリアプランニング」	株式会社 JTB 教育第一事業部	〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 目黒 IK ビル 3 階	03-5539-2911
ブルネイ・ダルサラーム 「ブルネイ・ダルサラーム国における異文化交流教育旅行」	株式会社エムアールシージャパン	〒110-0016 東京都台東区台東 4-32-7 第 2 宮地ビル 6 階	03-5846-8213

※プログラムに関するお問合せは直接各旅行会社へお願ひいたします。

※パートナーの学校、企業への直接の問合せはご遠慮ください。

※2024年3月時点の情報です。



お問い合わせ先： 観光庁 国際観光部 参事官（国際関係）

📞 03-5253-8922

海外教育旅行のすすめ 観光庁